

【資 料】

ファストファッションにおける衣料サイズおよびその表示について

柴田優子

Comparison of size indications in fast fashion

Yuko SHIBATA

要旨

日本でも多くの実店舗販売がされている世界各国のファストファッションメーカーではサイズ表示においてJIS規格に準じていないものが多く見られる。そこでファストファッションメーカーのサイズ表示について調査することとした。

調査対象は日本で実店舗販売をしている、国内発メーカー 2社 (UNIQLO、GU) と国外発メーカー 4社 (H&M、ZARA、GAP、Next) である。これらのメーカーのサイズとその対応する身体寸法やサイズ展開の調査を行い、JIS規格との比較を行った。また、日本人が一般的に標準サイズだと考えているMサイズの表記、および日本人成人女子の標準身体寸法 (9AR) に適するサイズ表示とその衣料の実寸と着用状態を検討した。

調査の結果、以下のことが明らかとなった。「M」サイズ表示しているものの対応身体寸法を比較したところ、国内発メーカーはJISのMと一致するが、国外発メーカーのサイズ表示は生産国の基準のままであった。次に、日本人女子の標準体型である9ARに一致するサイズ表示を比較したところ、国内発メーカーでは「M」、国外発メーカーでは「M」ではなかった。9ARに最も一致したシャツの出来上がり寸法の採寸をしたところ、ゆきにおいて、国外メーカーは国内メーカーに対してゆきが有意に長く、着用状態からも確認できた。さらに表示上は合うサイズのシャツであっても着用できないシャツもみられた。ファストファッションメーカーの衣料を買う際はサイズ表示にある対応の身体寸法を確認する必要がある、そのためには自身の身体寸法を適切に把握し、表示で確認した後に試着することも必要であるといえよう。

キーワード：衣服サイズ表示・Size indication of clothing、ファストファッション・fast fashion、既製衣料サイズ・Ready-made Clothes size

1. 緒言

既製服はさまざまな体型の消費者に対して可能な限り少ないサイズ数でできるだけ多くの消費者に購入されるようにと生産者側は考えている一方、着用者は体型に合う商品を選択する必要があるものである¹⁾。このような背景のもと、日本で販売されている既製服のサイズは、日本人の人体計測データを統計的に解析してJIS (日本工業規格) で既製服のサイズ規格²⁾を定められている。着用者はこれに基づいた表示を参考にして商品を選び、購入する。さまざまな服種、デザイン、アパレルメーカーなどの中から既製服を選ぶ際には、既製服のサイズ表示には着用者の基本身体寸法もしくは範囲表示で表示されておりこれ

を参考を選ぶのである。着用者の基本身体寸法の表示はバスト、ウエスト、ヒップ、身長の数値が記載される場合の他、記号による記載もあり、体型記号であるA/Y/AB/B、身長記号PP/P/R/T、バストの号数（3～31号）またはバストやウエストの範囲表示（S/M/L/LL）がある。仕上がり寸法よりも着用者の身体寸法が表示されている理由は、生産者がイメージするような着装となることや、消費者もサイズ選びがしやすいためである。つまり、バスト、ウエスト、ヒップ、身長が分かっているならば、身体寸法に適した衣料サイズを選ぶことができ、自身に対応するサイズ範囲表示も間違わずに選択できるのである。

しかし現状では、女子学生における自身の身体寸法についての認識は、バスト、ウエスト、ヒップといった主要項目でさえ、正確に把握できていない者は少なくなく³⁾、その上で、自身の衣服サイズは9号もしくはMサイズだと衣料サイズ表示のバスト号数や範囲記号で自身に適する衣料サイズを認識しているものが多い。その原因には、一般的にMサイズが標準だという認識があることや、若年女子の既製服は店舗でMサイズ（9号）しか置いていないことも多く、着用できているのだからこそ衣料表示に書かれている基本身体寸法の数値を、自らの身体寸法と勘違いしてしまうのである。「Mサイズを着用している」ことで、自身の身体寸法はMサイズ表示にある基本身体寸法のバスト83cm、ウエスト64cm、ヒップ91cmと一致していると考えている女子学生も少なくない。

一方、国外からのファストファッションで日本に初上陸したのは1995年のアメリカのGAPで、それからおよそ20年が経過し世界各国からのファストファッションメーカーが日本で店舗展開をしており、多くの実店舗販売がされるようになった。日本からも海外に進出しているファストファッションメーカーもある。ファストファッションに限らず、衣料のグローバル化に伴い、衣料サイズにおけるインターバルや各サイズの呼び方の標準化などを含めて、衣料サイズの国際標準をつくる動きもある。ISO（国際標準化機構）では、世界の人々は地域・人種で大いに体型が異なるため、各メーカーは対象とする顧客層の体型を分析してカバー率の高いサイジングをするという考え方にまとまったことが報告されている^{4・5)}。しかし、現時点では販売される各国の規格によって表示の基準が異なっている。例えば、アメリカであればASTM（アメリカ材料試験協会）で工業規格を制定したサイズ表示を使った衣料の販売がされ、ヨーロッパでは欧州地域における統一規格（EN）を各国の規格に反映させたサイズ表示を使った衣料が販売されているのである。ファストファッションメーカーは最新の流行を取り入れて、ほどよい品質の衣料を低価格で販売することを目指して世界各地で実店舗販売している一方で、顧客層である世界中の人々の体型をカバーすることやサイズの呼び方の標準化等は進んでいないこともあり、日本で実店舗販売されている衣料であっても、JIS規格に準じていないサイズ表示のものが多く見られる。その結果、これまで以上に購入者の身体寸法に適したサイズを選ぶのに表示だけでは難しい現状がでてきた。ファストファッションについての先行研究には着装心理学の観点⁶⁾から、マーケティングの観点^{7・8)}から、消費環境といった家庭科教育の観点^{9・13)}からなどがあるが、サイズ表示に関する観点からのものは見られない。

そこで、日本に実店舗があるファストファッションメーカーについて、衣料サイズの実態調査をすることで、サイズの呼び方や表示およびその対象とする身体寸法を明らかにすることとした。日本人が一般的に標準サイズだと考えているMサイズの表記、および、日本人成人女子の標準身体寸法（9AR）に適するサイズ表示とその衣料の実寸および着用状態を検討した。

2. 資料ならびに調査方法

調査は日本で実店舗販売を行っているファストファッションメーカー 6社を対象とした。国内発のファストファッションメーカー 2社：UNIQLO・GU、国外発のファストファッションメーカー 4社：H&M（ス

ウェーデン）・ZARA（スペイン）・GAP（アメリカ）・Next（イギリス）である。

各メーカーのWebサイトおよび、実店舗での成人女子用の衣料サイズの表示の仕方およびその表示に対応する身体寸法、サイズ展開について調査を行った。「M」サイズ表示を使っているメーカーについては「M」サイズに対応している身体寸法の比較をした。さらに、JIS規格との整合性および日本人成人女子の標準身体寸法（9AR）に適する衣料サイズ表示について調査し、就職活動で着用できるデザインの前あきシャツに着目し、標準体型である9ARに対応する各メーカー 3種類ずつ購入して、ゆき・身幅（前）・身幅（後）・着丈（前）・着丈（後）の5箇所について、出来上がり寸法の計測を行い、平均値を求めた。また、身体寸法が9ARに適するモデルに着用してもらい、着用時の外観の比較を行った。

3. 結果ならびに考察

3-1. 各メーカーの衣料サイズ表示と対応する身体寸法およびサイズ展開

各メーカーの成人女子用の衣料サイズ表示およびその対応する身体寸法とサイズ展開は表1の通りである。日本工業規格（JIS）における成人女子用衣料サイズL4005：2001の成人女子の衣料サイズにおける範囲表示を表2に示す。国内外のメーカーともにJISでは範囲記号と呼ばれるS/M/Lというサイズ表

表1 各メーカーの衣料サイズ表示と対応する身体寸法及びサイズ展開（cm）

	サイズ表示	B	W	H	身長		サイズ表示	B	W	H	身長
UNIQLO	XS	77	60	85	152.5	ZARA	XXS	80	58	86	記載なし
	S	80	63	88	156.5		XS	82	62	90	
	M	83	66	91	156.5		S	86	66	94	
	L	89	72	97	162.5		M	90	70	98	
	XL	95	78	103	162.5		L	96	76	104	
	XXL	101	84	109	162.5		XL	102	82	110	
	3XL	107	90	115	162.5		XXL	108	88	116	
GU	XS	74	57	81	152.5	GAP	XXS	79.5	63	87	記載なし
	S	78	61	85	159.5		XS	83	66	90.5	
	M	83	65	89	159.5		S	88	71	95.5	
	L	89	69	93	162.5		M	93	76	100	
	XL	95	73	97	162.5		L	100	83.5	108	
	XXL	98	79	103	162.5						
H&M	XS	78	62	86	記載なし	Next	6	80	65	87.5	P：155 R：166 T：177.8
	S	86	70	94			8	84	67.5	91.5	
	M	94	78	102			10	86.5	71	95	
	L	102	86	110			12	90	74	99	
	XL	113	97	119.5			14	94	79	105.5	
	2XL	125	109	129.5			16	99	84	110.5	
	3XL	137	121	139.5			18	104	91.5	117	
	4XL	149	133	149.5			20	109	99	123	
							22	114	103	127	
				24	123		109	131			
				26	128		116	137			
				28	133		123	144			

表2 JISにおける普通身長（154~162cm）の範囲表示（cm）

呼び方		S	M	L	LL	3L
基本 身体寸法	バスト	72~80(76)	79~87(83)	86~94(90)	93~101(97)	100~108(104)
	ヒップ	82~90(86)	87~95(91)	92~100(96)	97~105(101)	102~110(106)
	身長	158				
	ウエスト	58~64(61)	64~70(67)	69~77(73)	77~85(81)	85~93(89)

()の数字は中央値

示を使っているメーカーが多くNextを除く5社で採用されていることがわかった。しかしその一方で同じ表示のMであっても対応する身体寸法が全く異なることも明らかとなった。また、UNIQLOとGUは共に株式会社ファーストリテイリングの傘下にあるメーカーであるにもかかわらず、サイズピッチやバスト対応するウエストおよびヒップや身長にズレがあることもわかった。それぞれが日本人を基準として、国外やまた対象とする年齢層によってサイズ展開に差異をつけていることが推測された。このように表示の仕方やそれに対応する身体寸法はメーカーごとに大きく異なっていることがわかった。そこで、さらに詳細を明らかにするために、「M」サイズ表示や日本の成人女子の標準体型に合うサイズに焦点を絞り比較をすることにした。

3-2. 各メーカーの「M」サイズ表示の対応身体寸法

各メーカーにおける「M」サイズ表示しているものの対応身体寸法を比較した結果を表3、図1に示す。そもそもMはmediumの略であり、JIS規格に準じていれば、日本人成人女子のMサイズは標準体型である9AR（バスト83cm、ウエスト64cm、ヒップ91cm）と一致している必要がある。国内メーカー

表3 各メーカーの「M」サイズ表示の対応身体寸法

	B	W	H
UNIQLO	83	66	91
GU	83	65	89
H&M	94	78	102
ZARA	90	70	98
GAP	93	76	100

(cm)

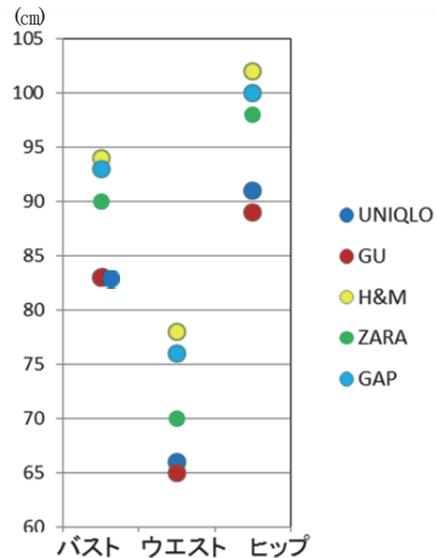


図1 各メーカーの「M」サイズ表示の対応身体寸法

表4 各メーカーの「9AR」相当するサイズ表示とその対応身体寸法

	表示	B	W	H
UNIQLO	M	83	66	91
GU	M	83	65	89
H&M	S	86	70	94
ZARA	XS	82	62	90
GAP	XS	83	66	90.5
Next	UK8	84	67.5	91.5

(cm)

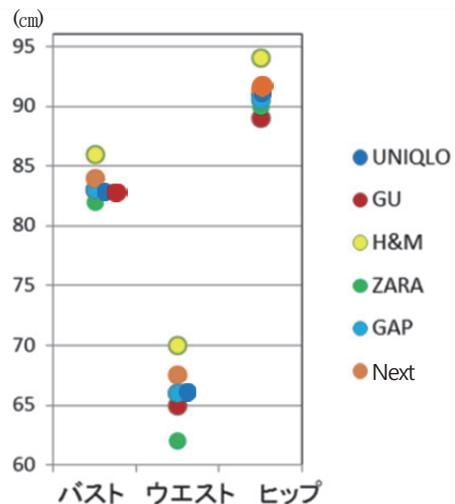


図2 各メーカーの「9AR」相当するサイズ表示の対応身体寸法

であるUNIQLOとGUはこれにほぼ一致していることが確認された。一方で国外発のH&M・ZARA・GAPはバストにおいてJIS規格と7~11cmも差があることがわかった。これはバストの号数で考えると、UNIQLOとGUは9号であるのに対し、H&Mは15号と17号の間、ZARAは13号、GAPは15号に相当する。次に、ヒップにおいて、標準体型のバストの号数に対応する基本身体寸法との関係を見ると、先に述べたように、UNIQLOとGUは9ARと一致しているのに対し、H&Mは19ARと21ARの間、ZARAは15ARと17ARの間、GAPは17ARと19ARの間であることがわかった。国外発メーカーについて、バストとヒップをJIS規格のバスト号数と体型記号の最も近いもので表すと、H&Mは15ABと17ABの間、ZARAは13AB、GAPは15ABであった。国外発のファストファッションメーカーはいずれも日本人のAB体型、つまり標準体型(A体型)よりバストに対してヒップが4cm大きい体型が基準となっていることがわかった。また、JISの範囲表示(表2)と比較すると、UNIQLOとGUはバスト・ウエスト・ヒップともにJISのMと一致するが、H&MはいずれもJISのLLに一致し、ZARAはいずれもJISのLに一致、GAPはバストとウエストがJISのLでヒップがLLと一致することが明らかとなった。国外発メーカーにとってのMサイズは、各メーカーの母国の成人女子のmedium、つまり標準体型からきていることは容易に推測できる。日本で売られているにもかかわらず、サイズ表示は生産国の基準であることが明らかとなった。

したがって、範囲記号でMと表示は同じであっても、それに対応する身体寸法には大きく違いがあり、国外発のファストファッションメーカーについては、日本人にとってはJIS規格に準じている「M」なのかどうかで示すサイズは全く異なることを認識しておく必要があると言えよう。

3-3. 日本人の成人女子の標準身体寸法(9AR)に適する各メーカーのサイズ表示の比較

各ファストファッションメーカーにおいて、日本人の成人女子の標準体型(9AR)の者が着用する場合、最も適する衣料サイズ表示を調査した結果を表4および図2に示す。国内発メーカーのUNIQLOとGUは「M」表示が一致していたが、国外発メーカーではH&Mが「S」、ZARAが「XS」、GAPが「XS」、Nextが「8」の衣料サイズ表示で最も一致することがわかった。UNIQLOとGUが「M」で9ARと一致することは先にも述べ、繰り返しになるため、ここでは省略する。H&Mの「S」はJIS規格の11ARに相当し、標準体型(9AR)よりもバストおよびヒップが3cmずつ大きい。ZARAの「XS」はJIS規格の9ARに相当し、標準体型(9AR)よりもバストおよびヒップが1cmずつ小さい。GAPの「XS」はJIS規格の9ARに相当し、標準体型(9AR)よりもヒップが0.5cm小さい。Nextが「8」はJIS規格の9ARに相当し、標準体型(9AR)よりもバストが1cm、ヒップが0.5cm大きい。これより、先にみた「M」サイズ表示の対応身体寸法の結果では国外メーカーはJIS規格のAB体型に一致していたのに対し、日本人女子の標準身体寸法(9AR)に適する身体寸法の結果ではA体型が最も一致している結果となったことから、国外メーカーは日本とは異なり、サイズが大きくなることで対応する体型まで変化することが明らかとなった。

3-4. 9AR対応の「就職活動で着用できるデザインの前あきシャツ」の各メーカーの出来上がり寸法と着装

標準体型9ARの女子学生が就職活動で着用するという条件で、メーカーごとに3つの異なるデザインのシャツを購入し、出来上がり寸法を計測し、各箇所のSPSSによる統計解析を行った。計測した箇所はゆき、前後の身幅、前後の着丈の5カ所である。各箇所の平均値を表5および図3に示す。分散分析をした結果、ゆき($F=(5, 11)=9.86, p<0.01$)と身幅(後)($F=(5, 11)=4.43, p<0.05$)ではメーカーによる有意な差がみられたが、身幅(前)($F=(5, 11)=1.80, n.s.$)、着丈(前)($F=(5, 11)=1.16, n.s.$)、着丈(後)($F=(5, 11)=1.08, n.s.$)では有意な差はみられなかった。つまり、ゆきと身幅(後)はメーカーによって

の差異がみられるが、身幅（前）と前後の着丈はメーカーによるサイズのための差異ではなくそれぞれのシャツのデザイン性が理由となる差異であると考えられた。ゆきの平均値はUNIQLO とGUでも 3 cmの差異がみられ、GUの方が長い。これは表 1 の対象とする身長に比例しているためと考えられ、UNIQLO よりもGUの方が若年層をターゲットとしていることがうかがえる。ゆきと身幅（後）では分散分析で有意な差がみられたため、さらに多重比較を行った。その結果を表 6 に示す。ゆきではユニクロは他の全てのメーカーより有意に短く、GUはH&M・GAP・Nextより有意に短いことがわかった。つまり、バストが一致するものを着用しても、国外メーカーは国内メーカーに対してゆきが有意に長いことが明らかとなった。ここで、標準体型の女子学生をモデルとした着用状態を写真で比較すると（図4）、H&MやGAPでは手首を超えて、手の甲あたりに袖口の端があることがよくわかる。上衣のサイズ選択基準となるバストが一致していたとしても、ゆきが長いこと大きすぎるものを着装しているかのような印象を与えている。バスト・ウエスト・ヒップの対応身体寸法だけでなく、ゆきの対応身体寸法の表示は必要だといえる。また、着丈（後）においてH&Mが他のメーカーより有意に長い理由はデザインによるものだと考えられる。H&Mのシャツは3種類ともヨークの切り替えがあり、背中にプリーツがあるデザインとなっていたのに対し、他のメーカーにはプリーツは見られなかったためである。さらに、モデルによる着用状態の観察を行っていた中で、ZARAの1つのデザインのシャツでは、前ボタンは閉められたものの、綺麗に着装できたとはいうことができないシャツもみられた（図5）。表示にある身体寸法の人を着用できない衣服を販売していることは許されることではなく、ファストファッションを含めた低価格競争による衣料の販売の弊害のように思われた。

表5 各メーカーのシャツの出来上がり寸法 (cm)

	ゆき		身幅(前)		身幅(後)		着丈(前)		着丈(後)	
	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD
UNIQLO	76.2	0.3	48.5	2.4	51.7	2.7	59.1	0.8	67.3	3.1
GU	79.2	1.7	50.0	0.9	58.1	2.2	59.8	3.7	67.1	1.4
H&M	83.2	0.7	49.5	1.4	51.4	2.6	62.5	0.7	72.5	3.8
ZARA	81.5	2.1	50.9	2.3	49.8	3.8	59.8	0.4	69.2	2.0
GAP	82.6	2.2	47.2	0.8	50.7	4.0	61.0	2.9	66.7	2.6
Next	83.8	1.8	48.8	1.2	48.2	0.8	63.5	4.3	70.7	6.8

4. 総括

日本に実店舗があるファストファッションメーカーの衣料サイズについて、サイズの呼び方や表示およびその対象とする身体寸法を調査し、日本人が一般的に標準サイズだと考えているMサイズの表記、および、日本人成人女子の標準身体寸法（9AR）に適するサイズ表示とその衣料の実寸および着用状態を検討した。主な結果は以下の通りである。

- (1) 国内外のメーカーともにJISでは範囲記号と呼ばれるS/M/Lというサイズ表示を使っているメーカーが多くNextを除く5社で採用されていることがわかった。しかしその一方で同じ表示のMであっても対応する身体寸法が全く異なることも明らかとなった。
- (2) 各メーカーの「M」サイズを JISの範囲表示と比較すると、UNIQLOとGUはバスト・ウエスト・ヒッ

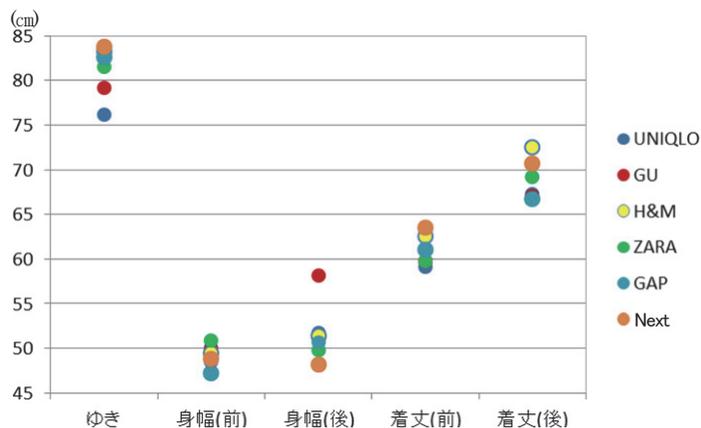


図3 各メーカーの出来上がり寸法

表6 多重比較結果
(右上:ゆき/左下:身幅(後))

*: P<0.05, n.s.: 有意差なし

	UNIQLO	GU	H&M	ZARA	GAP	Next
UNIQLO		*	*	*	*	*
GU	*		*	n.s.	*	*
H&M	n.s.	*		n.s.	n.s.	n.s.
ZARA	n.s.	*	n.s.		n.s.	n.s.
GAP	n.s.	*	n.s.	n.s.		
Next	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	



図4 身体寸法と表示における対応寸法のバストが一致する各メーカーの前あきシャツの着用状態



図5 サイズが合わなかった ZARA の前あきシャツの着用状態

プともにJISのMと一致するが、H&MはいずれもJISのLLに一致し、ZARAはいずれもJISのLに一致、GAPはバストとウエストがJISのLでヒップがLLと一致することが明らかとなった。

- (3) 日本人成人女子の標準体型 (9AR) に適する各メーカーのサイズ表示は、UNIQLOとGUは「M」、H&Mは「S」、ZARAは「XS」、GAPは「XS」、Nextは「8」の衣料サイズ表示で最も一致することがわかった。
- (4) 9AR対応の「就職活動で着用できるデザインの前あきシャツ」の各メーカーの出来上がり寸法と着装を調査したところ、UNIQLOとGUは他の国外発メーカーよりゆきが短いことが明らかとなった。標準体型のモデルによる着用状態より、H&MやGAPでは手首を越えて、手の甲のあたりに袖口の端があ

るなど、上衣のサイズ選択基準となるバストが一致していたとしても、ゆきが長いいため大きすぎるものを装着しているかのような印象を与えることがわかった。

以上のことから、ファストファッションメーカーの衣料を買う際は、サイズ表示で確認するのではなく、着用者が対応の身体寸法を確認する必要があることが明らかとなった。そのためには、購入者側は自身の身体寸法を適切に把握しておく必要がある。さらに、表示で確認しても、ゆきなど表示にはない箇所でのサイズ不適合も考えられるため、購入前に試着することも必要不可欠であるといえよう。

文献リスト

- 1) 岡田宣子. ビジュアル衣生活論, 建帛社, 2011, p.106-111.
- 2) 日本規格協会. 成人女子用衣料のサイズJIS L4005:2001(2015確認), 2001, p.2-9.
- 3) 原田妙子, 吉田真理子. 女子学生の身体寸法と既製服寸法の認識度について, 名古屋女子大学紀要(家政・自然編), 2001, 47, p.39-47.
- 4) 中川原正人. 衣料サイズの国際標準の国際標準化ISO TC133 WG3の活動, ファッションビジネス戦略と衣料サイズの最新動向, 平成30年度日本家政学会被服構成部会公開夏期セミナー(創立40周年記念)要旨集, 2018, p.9-10.
- 5) 持丸正明. デジタルフィッティングとアパレルECを支える国際標準化の動向~ ISO TC133 3D Body Process Standard~, 平成30年度日本家政学会被服構成部会公開夏期セミナー(創立40周年記念)要旨集, 2018, p.5-8.
- 6) 吉川 孝. ファストファッション時代の自己形成, 心理学評論 57(3), 2018, p.350-356.
- 7) 山田桂子. 繊維/アパレル 外資系ファストファッションメーカーの展開, 繊維トレンド, 2016, 120, p.31-34.
- 8) 宮崎正浩. アパレル企業の持続可能なビジネスモデル, 跡見学園女子大学マネジメント学部紀要, 2017, 23, p. 47-68.
- 9) 安田美和, 齋藤美保子. ファストファッションから労働問題および環境を考える授業とワーク(特集 現代の子どもたちと衣領域学習), 家教連家庭科研究, 2018, 342, p.20-23.
- 10) 小谷光正. 環境配慮型商品の消費の促進に向けて, 名古屋学院大学論集 社会科学篇, 2017, 54(1), p.53-64.
- 11) 横瀬友紀子, 河村美穂. グローバルな視点を育むための家庭科教育内容の検討, 日本家庭科教育学会大会・例会・セミナー研究発表要旨集, 2017, 60, p 49.
- 12) 鷺津かの子, 水嶋丸美, 安藤文子, 宮本教雄, 伊藤きよ子. ファストファッション製品の使用状況と着用後の処分方法に関する調査, 繊維製品消費科学, 2016, 57(5), p.385-390.
- 13) 大枝近子, 佐藤悦子, 高岡 朋子. 環境要因のリスクを考慮したファストファッションにおける縫製工場の事業評価法に関する研究 若者のファストファッション意識に関する調査, 日本家政学会誌, 2013, 64(10), p.645-653.

柴田 優子(和洋女子大学 家政学部 家政福祉学科 助教)

(2018年10月12日受付)